

# かかりつけ医とかかりつけ薬局は 何でも相談できる身近な存在

子どもたちには、元気で健康に過ごしてほしいですね。子育て世代にむけて、アレルギーなどの病気や薬との付き合い方をテーマにセミナーが開催されました。小児アレルギーの専門家などが登場したイベントの様子をレポート。健康管理に役立てて。

主催：関西テレビ放送 後援：厚生労働省、大阪府、大阪市、日本医師会、大阪府薬剤師会 協賛：沢井製薬

## 「アレルギーマーチ」を知って正しい予防を

3月3日に開催された市民公開講座「知っておきたい病気とお薬の話～子育て世代で考えるアレルギー～」は、医師の藤谷宏子先生の基調講演からスタート。アレルギー専門医でもある藤谷宏子先生からは、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支ぜん息などの特徴とともに、成長に伴ってさまざまなアレルギーを発症する「アレルギーマーチ」予防の大切さについて解説。「乳児湿疹などの症状が出た時点からきちんと治療を行い、予防をしていくことが重要」とアドバイスしてくれました。



和やかな雰囲気で行われたパネルディスカッション

また、症状をおさえる塗り薬や保湿剤、食事療法や最新の治療法など、

## 生活習慣を見直し バランスのとれた食事を

療情報の話も。「最近では、5歳からアレルギーの皮下免疫療法が可能に。正しい知識を持ち、薬につきあっている方法をみつけましょう」と教えてくれました。



藤谷宏子先生  
医療法人博友会（はくゆうかい）藤谷クリニック医師 日本小児科学会小児科専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医

管理栄養士、製菓衛生師、そして中薬膳指導員の経験も持ち、2人の子どもを育てる母でもある森崎さん。自身も幼少期にアトピー性皮膚炎だったそう。「今は治療法やお薬も進歩しているのですね」と、藤谷先生の話を聞いた感想とともに、当手を振り返ります。



北川奈美先生  
サエラ薬局薬剤師 薬剤師の取り組みについての講演などでも活躍

## 薬との付き合い方を知り 身近な専門家に相談を

アレルギーはもちろん、病気を治すには欠かすことができないのが「お薬」。薬剤師の北川先生からは、粉薬やシロップなど、薬嫌いな子どもたちに、薬を飲ませる工夫の紹介もしてくれました。

さらにジェネリック医薬品について、「先発医薬品と有効性や安全性は同様。味や飲みやすさなどの製剤改良がされています」という説明も。森崎さんは、「薬代が安くなれば家計も助かりますよね。私はジェネリックを選んでいきます」とにっこり。

北川先生は、「お薬手帳」の活用法もレクチャー。紙だけではなく、スマホで使える電子お薬手帳があるとのこと。「薬剤師はさまざまな悩みにアドバイスできる身近な存在。かかりつけ医がいるように、かかりつけ薬局を作って、気軽に相談をしてください」と話してくれました。

私もかかりつけ薬局を持っていて、気軽に相談していますよ



森崎友紀さん  
料理研究家。管理栄養士、製菓衛生師。2児の母